



《学校教育目標》 夢をもち 自ら学ぶ～つなげる・つながる～

# 長 迫 の 丘

令和6年3月25日  
長迫小学校通信No.20  
校長 高尾 千草

## 修了式～次の学年へジャンプ!～

本日、修了式を行いました。校長から児童代表へ修了証書を渡した後、各担任から子どもたち一人一人に1年間の頑張りの成果と次の学年に向けての励ましの言葉を添えて通知表を渡しました。

この1年間の子どもの成長は目を見張るものがあります。通知表を親子で一緒にご覧いただき、この1年間の頑張りを褒めてあげてください。力を出し切れなかった所は復習するようご家庭でも声がけしていただき、子どもたちに次の学年への期待感が高まるようご配慮いただければ幸いです。保護者の皆様や地域の皆様には、今年度も本校の教育活動を進めるにあたって、一年間多大なるご支援・ご協力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。



## 祝 県 NIE 教育奨励賞 「優秀奨励賞」 受賞!

本校が「新聞」を活用した取組を始めて2年が経ちました。この度、見出しのように「優秀奨励賞」を受賞（3/23中国新聞に掲載）しました。朝のNIEタイムや授業の中で新聞を活用した実践をまとめたものです。この積み重ねにより、「情報を活用し、自分の問題として考え、その考えを発信する力」を引き続き、伸ばしていきたいと思えます。



## 第98回卒業証書授与式～20名の6年生が巣立っていきました!～

3月16日、第98回卒業証書授与式を行いました。20名の6年生が無事に巣立っていきました。卒業式という最後の授業を立派に務めてくれました。6年生の成長を心から嬉しく思います。また、厳粛な中にも温かい式を執り行うことができましたのも、日頃から温かく見守ってくださる地域の皆様、保護者の皆様のおかげです。ありがとうございます。



学校長式辞



卒業証書授与



在校生送辞



在校生（4，5年生）も参加



卒業生答辞



6年生退場



拍手で見送り

杉野主事が東校舎道路沿いに咲いている菜の花で、渡り廊下に菜の花の道を作ってくれました。多くの人の真心を感じる卒業式でした。



感謝の気持ちを込めて

## 校長 修了式の言葉～自分磨きができる子に～

今日で令和5年度も終わりました。今、代表の皆さんに「修了証」を渡しました。皆さんが、それぞれの学年で学習する内容を身に付けたこと、苦手なことにも挑戦し続けたこと、周りの人に感謝や思いやりの気持ちを示せたことなど、その学年にふさわしい子どもに成長したという証（あかし）です。この後、教室で担任の先生からもらってください。

さて、校長先生も長迫小学校の「通知表」を付けてみました。皆さんが、1年間で頑張ったと思うことを3つ言います。

まず、挨拶です。心を込めた挨拶ができるようになりました。挨拶は、人と人をつなぐ大事なコミュニケーションです。相手の目を見て、立ち止まって挨拶をすることで、学校、地域にもっと笑顔が増えることを願っています。

2つめは、掃除です。今年度から縦割り掃除が始まりました。掃除開始のチャイムの前から掃除を始めていた人もいました。黙って掃除をするようにすると、学校がもっときれいになると思います。

3つめは、言葉です。「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」について考えることが多い1年でした。「ちくちく言葉」を言わないように気を付けることで、友だちとの関係がよい方へ変わっていきます。みんなからもっと「あったか言葉」が出るようになると、長迫小学校はもっともっとよい学校になります。

本校は来年度、創立百周年を迎えます。本校の校章のもとになった花を知っていますか。体育館の幕にも刺繍されていますね。答えは、梅です。梅に、長迫小の「長」がデザインされています。当時の記録に、「すべてのものが息を潜めて厳しい寒さに耐える中、どの木々よりも早く、春の訪れを知らせるように花開くのが梅である。」という記述があります。春に咲く花は、冬の寒さが厳しければ厳しいほど美しい花を咲かせるそうです。困難なことや苦しいことも耐えて、自分の花を咲かせてほしいと願ったのでしょう。

この梅に因んだ言葉に「雪に耐えて梅花麗し」があります。これは、広島東洋カープやメジャーリーグでも活躍した黒田博樹さんが座右の銘とした言葉です。プロ野球で大活躍した選手と言えば、高校野球でも大活躍した選手と思いがちですが、実はそうではありません。高校時代の黒田さんは、控え投手で、エースと言われる存在ではなかったのです。

黒田さんはあるインタビューでこう言っています。

**たとえ一番になれなくても、努力を続けることが大事だ。「一番」は、一人しかいない。その一人に選ばれるのは大変なことだ。もし一番になれなくても、努力をすれば、次の違ったステージで一番になれるかもしれない。たとえ「一番」になれなくても、可能性はたくさんある。でも、努力をしないと、次のステップは出てこない。だから、まずはあきらめずにやり続けること。そうすれば、次の光が見えてくるはずだ。**

卒業式前に4、5年生に「自分磨きができる人になろう」と話しました。よりよい自分を目指して、自分を磨く、つまり、努力を続けてほしいということです。来年度、皆さんは進級します。勉強が難しくなると、「めんどくさいな」「たいぎいな」も出てくるはずですが、けれども、人はやりたいことだけやっていると成長できません。苦手なことや難しいことにも挑戦することで力が伸びます。その挑戦を楽しみ、来年度も「自分磨き」を頑張ってください。



### いじめ・体罰・セクシュアル・ハラスメント等相談窓口

上記の内容や児童の成長についての心配事など、ご遠慮なく相談ください。

長迫小学校相談窓口

長迫小学校 ☎22-3191

《担当者》教頭：加藤寛 教務主任：小早川 崇

生徒指導主事：坊田友会 養護教諭：田熊留美

《相談日》相談はいつでも受け付けます。☎ 22-3191

